

## 内水排除等作業訓練

### 出水時等状況把握訓練を実施しました!

4月26日に大石田第5排水樋管にて内水(※)被害を想定した内水排除等作業訓練を行いました。

実際に樋管に排水ポンプ車を出動させ、排水の手順を確認しました。写真①・②

また、同日に大石田出張所にて出水時等状況把握訓練を実施しました。

「はん濫注意水位を上回る規模の増水時や大きな規模の地震が発生した際には、維持工事業者が管内を巡回し、現地の状況を河川巡視システムで出張所へ報告することとなっています。

今回は、実際に現場に行ってもらい写真撮影し、システムで報告するという一連の流れを訓練しました。写真③・④

今回の訓練を生かし、本番でも円滑に作業、状況把握できるようにしていきます。

## ※内水とは・・・

最上川の水を外水(がいすい)というのに対し、堤防で守られた内側の土地(住宅側)にある水を内水(ないすい)といいます。

大雨が降ると川が増水して水位が上がり、住宅側に溜まった水が自然に川へ排水出来なくなるため、内水がはん濫して家屋や田畑が浸水してしまう事を「内水被害」といいます。

①組立作業中



②実際に排水しています



③机上訓練の様子



④実際に現場に行き、写真を撮って報告します



## 堤防モニタリングを実施しました!

5月18日と5月25日に堤防モニタリング(※)を行いました。

### ※堤防モニタリングとは・・・

本格的な出水期(川が増水しやすい時期)を前に、堤防が安全な機能を有しているかどうかを確認するための調査です。

堤防に損傷があると、大雨による洪水時に大きな被害につながるおそれがあるため、堤防天端舗装にひび割れはないか、法面のりめん(堤防の斜面の部分)に亀裂が入っていないかなど、大石田出張所管内の堤防を全て歩いて点検しました。

点検の結果、補修が必要な箇所は早急に対応していきます。

## 主な点検内容

護岸にひび割れがないか確認しています↓



舗装の損傷箇所を測定↓



## 主な点検内容

貫入棒を使い地盤の緩み具合を調査↓



湿润箇所の確認(車の走行等により堤防が痛む可能性があります)↓



この道具は貫入棒といいます。堤防に刺さる深さを測り、盛土の状態(地盤の緩みなど)を調べます。



イタドリ(※)等の繁茂の確認↓



## ※イタドリとは・・・タデ科の植物。

草丈が高く、葉が大きいので、日光がさざざられて芝が枯れ堤防が裸地状態になってしまいます。また、根が太く深いため、堤防が弱体化する原因となります。

# もしもの水害に備えましょう！

## 【事前の備え】

- 1. 天気予報や気象情報に注意**  
洪水が起こりやすい時期には、テレビ・ラジオ・インターネットの情報に注意し、天気の変り変わりに気をつけながら、「いつ」避難すれば良いか確認しておきましょう。
- 2. 非常食や持ち出すもの等の準備**  
非常食には、調理の時間がかからず、水もあまり使用しないものを選びましょう。飲料水も忘れずに。また、懐中電灯や携帯ラジオ、乾電池も忘れずに用意しておきましょう。
- 3. 避難場所や避難経路の確認**  
自分の地区の避難場所がどこなのか、避難場所まで安全に行くにはどう行けばいいのかを確認しておきましょう。また、避難場所までの移動にかかる時間も確認しておきましょう。
- 4. 大雨や台風に備えて家の周りを点検整備**  
家の周りに吹き飛ばされそうなものは無いかなどは痛んでいないか確認しておきましょう。不安になっても、川や用水路の様子を見に行く事はやめましょう。

令和3年5月20日から

**警戒レベル4・避難指示で必ず避難！**  
警戒レベル5はすでに危険な状況です！

警戒レベル	状況	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	災害発生 又は切迫	緊急安全確保	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
~<警戒レベル4までに必ず避難!>~			
4	災害のおそれ高い	避難指示	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	災害のおそれあり	高齢者等避難	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

## 洪水情報や気象情報をチェック



### 国土交通省 川の防災情報

パソコンから<http://www.river.go.jp/>  
スマートフォンから<http://www.river.go.jp/s/>



防災マップを活用しよう！



### TVから河川情報が分かります！



- ①TVをNHKに合わせる。
- ②リモコンのdボタンを押す。
- ③防災・生活情報を選択。
- ④河川水位情報を選択。

※はん濫注意水位を超えた場合のみ表示

## 働く車を紹介します!!

Part.1

### 排水ポンプ車 (当出張所では2台保有)



**目的:** 河川のはん濫などの浸水被害に対し、排水作業を緊急に行う車両です。

**特徴:** 毎分30m<sup>3</sup>の排水ができます。

ポンプは、1台約35kgの重量のため、人力による運搬・投入が可能です。

※標準的な小学校の25mプールを約10分で空にできます！



排水作業(R2・7月豪雨)



排水ポンプ

#### 【発行】

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所 大石田出張所  
(担当:三戸・浅沼)

〒999-4113 大石田町大字今宿字鶯の原466-2

(TEL)0237-35-2024 (FAX)0237-35-2354

※「川通信 おおいだ」をご覧になってのご感想やご意見をお寄せ下さい。

※工事現場や河川管理施設をご覧になりたい方は、大石田出張所までご連絡ください。

ホームページもご覧下さい！

<http://www.thr.milt.go.jp/shinjyou>

新庄河川

検索

